

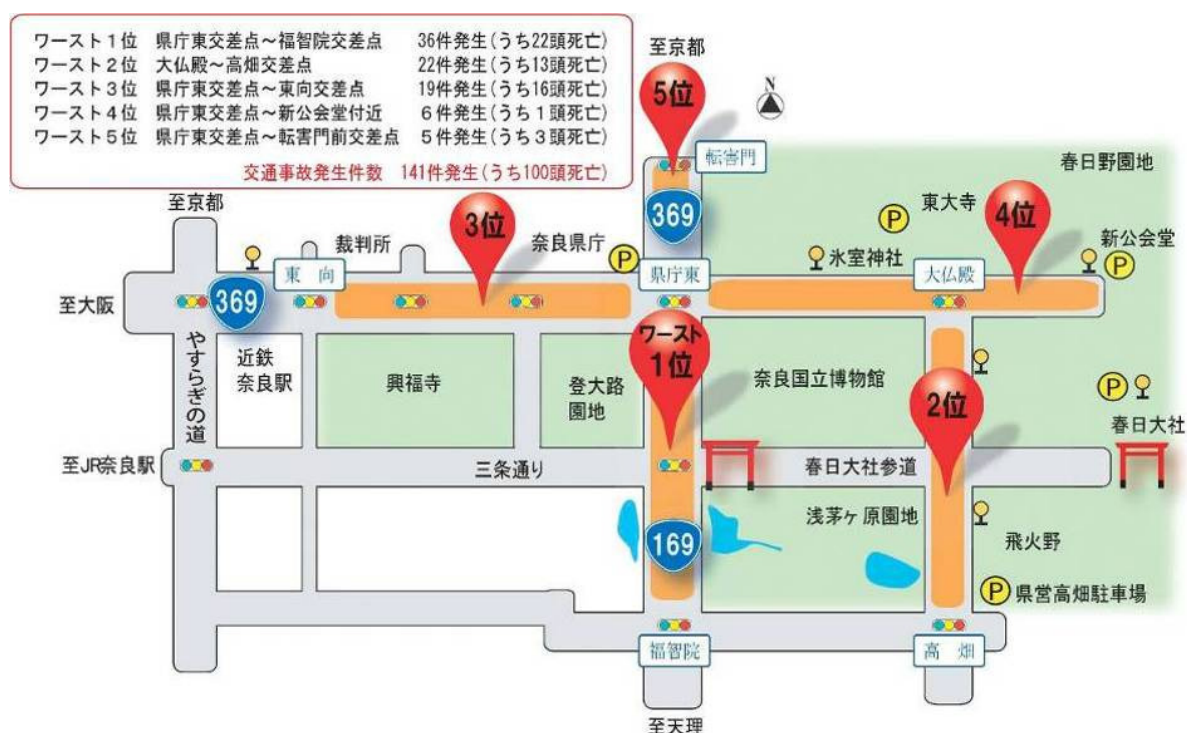
1-2. 交通事故の発生

シカによる人身事故が発生している一方で、奈良公園の平坦部を中心とした市街地に生息している「奈良のシカ」は交通事故の被害に遭う場合が多く、年間150件以上も発生している。愛護会の調べでは、平成24年（2012）7月16日から平成25年（2013）7月15日までの1年間で100頭の鹿が交通事故により死亡していると報告している。なお、平成25年（2013）の交通事故の多発箇所は、「県庁東交差点～福智院交差点」（36件発生、うち22頭死亡）での交通事故が最も多く、次いで「大仏殿～高畑交差点」（22件発生、うち13頭死亡）、「県庁東交差点～東向交差点」（19件発生、うち16頭死亡）である。

表 19 奈良公園周辺の交通事故発生件数の推移

場所		平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成23～25年度合計	
		件数	死亡頭数	件数	死亡頭数	件数	死亡頭数	件数	死亡頭数
ワースト1位	県庁東交差点～福智院交差点	49	30	35	24	36	22	120	76
ワースト2位	大仏殿～高畑交差点	30	17	19	11	22	13	71	41
ワースト3位	県庁東交差点～東向交差点	24	13	15	8	19	16	58	37
ワースト4位	県庁東交差点～新公会堂付近	10	6	13	6	6	1	29	13
ワースト5位	県庁東交差点～転害門前交差点	8	7	4	3	5	3	17	13
計		121	73	86	52	88	55	295	180

出典：一般財団法人奈良の鹿愛護会



出典：一般財団法人奈良の鹿愛護会HP

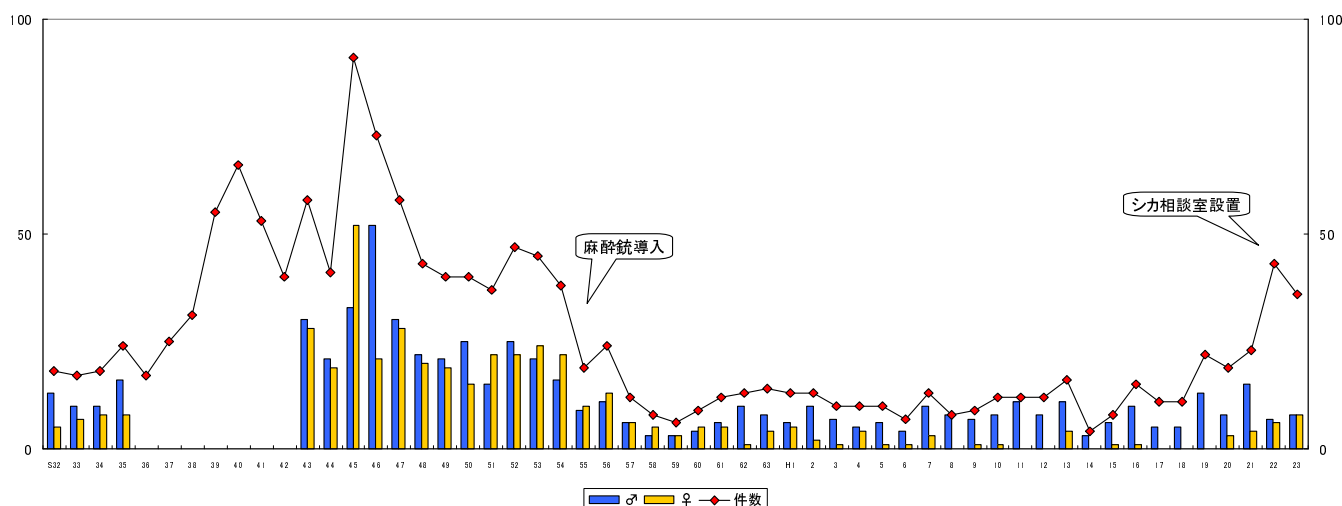
図 19 平成25年（2013）天然記念物「奈良のシカ」交通事故多発箇所

2. 奈良のシカが起因となっている課題

2-1. 人身事故の発生

下図のとおり、A地区では、昭和46年（1971）以降、奈良のシカが起こしている人身事故は減少傾向にある。しかしながら、奈良公園のシカ相談室調べによると、平成22年度（2010）以降、怪我の度合いに差はあるが、人身事故は40件程度発生していることが把握できている。

このことから、A地区における奈良のシカが起こす人身事故の詳細を把握するため、（1）発生時期・時刻、（2）事故発生場所、（3）怪我の度合い等、について整理した。



出典：一般財団法人奈良の鹿愛護会

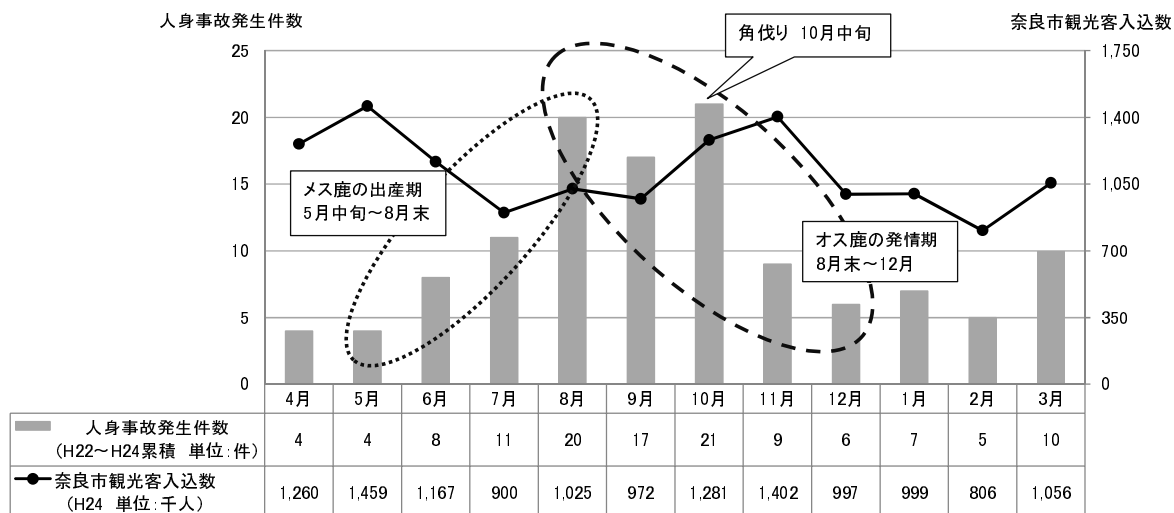
図 20 昭和32年（1957）以降の人身事故件数の推移

（1）発生時期・時刻

1）発生時期

平成22年度（2010）から平成24年度（2012）に奈良公園のシカ相談室（以下「シカ相談室」）に相談のあった人身事故の月別発生件数（累積）をみると、メス鹿の出産期が始まる5月から発生件数が増加傾向になり、オス鹿が発情期を迎える8月から10月にかけて最も発生件数が多くなる。奈良市への月別観光客入込数の推移と比較しても、入込数が減少する5月以降から10月までにかけて、人身事故の発生件数が増加していることから、メス鹿の出産期、オス鹿の発情期におけるシカの気性の変化が人身事故の増減に関係していると考えられる。

なお、図21に示す人身事故件数のうち、出産直後の母鹿による事故は2件であり、発情期で気性が荒くなったオス鹿（除角済みの鹿も含む）による事故は17件程度である。その17件程度とは、8月から12月に発生した全人身事故から、事故に至った経緯から推察した件数である。角鹿による怪我でも、シカ煎餅欲しさに後ろから頭突きをするなど、発情期以外にもとる行動で、運悪く角が当たったために怪我につながったような事故は、前記の17件程度に含んでいない。

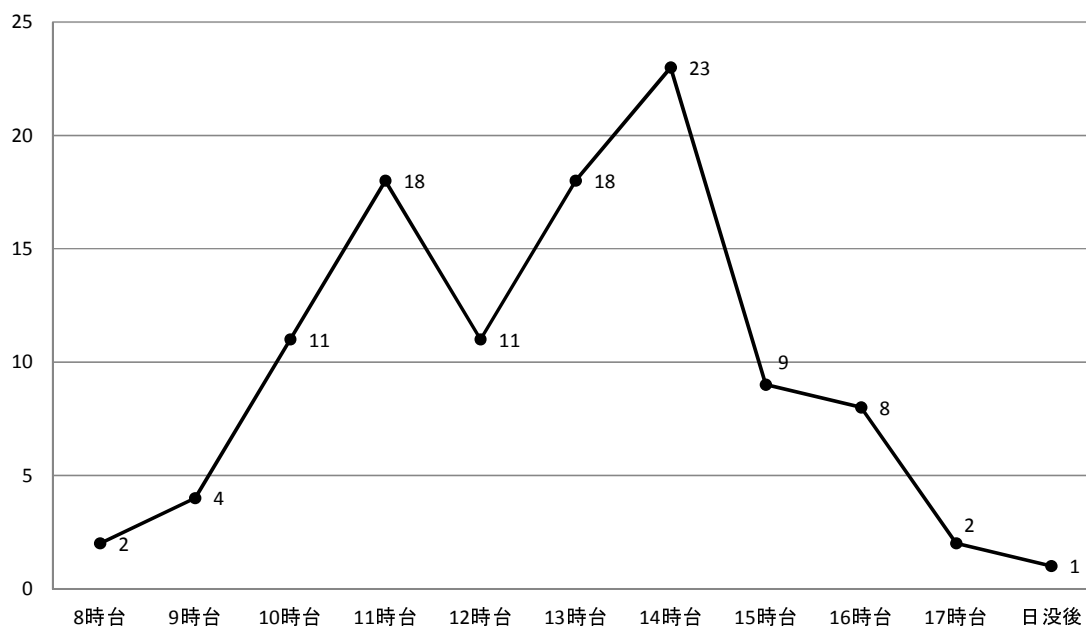


- ※1 メス鹿の出産期：5月中旬～6月中旬がピーク。8月末ではほぼ終了。
 ※2 オス鹿の発情期：8月末頃～11月末頃。12月でも、まだ発情しているオス鹿もいる。
 出典：奈良公園のシカ相談室資料、平成24年度（2012）奈良市観光入込客数調査報告から作成

図 21 平成22年度（2010）～平成24年度（2012） 月別人身事故発生件数の推移

2) 発生時刻

平成22年度（2010）から平成24年度（2012）にシカ相談室に相談のあった人身事故の時間別発生件数（累積）をみると、8時台以降から発生件数が増加し、14時台に最も多く発生していることが把握できる。より多くの観光客が訪れる11時以降から14時にかけて人とシカが触れ合う機会が増えたことで、必然的に人身事故の発生件数が増加していると考えられ、A地区、特に奈良公園平坦部の滞留人口の増減に関係していると推測できる。



出典：奈良公園のシカ相談室

図 22 平成22年度（2010）～平成24年度（2012） 時間別人身事故発生件数の推移

26

主な人身事故発生場所（H22年度～25年度（H26 2/8 現在））

土地所有者	記号	数量
春日大社	■	11
国立博物館	■	3
東大寺	■	9
奈良県	■	17
合計		40

Map Labels and Accident Counts:

- 春日大社 7件
- 春日大社参道 4件
- 春日野園地 2件
- 春日奥山遊歩道 3件
- 春日奥山麓 7件
- 春日大社参道 11件
- 春日大社参道 4件
- 春日大社参道 12件 (内、五重塔前 10件)
- 春日大社参道 19件
- 春日大社参道 13件
- 春日大社参道 17件
- 春日大社参道 16件
- 春日大社参道 15件
- 春日大社参道 14件
- 春日大社参道 13件
- 春日大社参道 12件
- 春日大社参道 11件
- 春日大社参道 10件
- 春日大社参道 9件
- 春日大社参道 8件
- 春日大社参道 7件
- 春日大社参道 6件
- 春日大社参道 5件
- 春日大社参道 4件
- 春日大社参道 3件
- 春日大社参道 2件
- 春日大社参道 1件

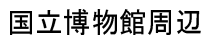
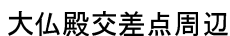


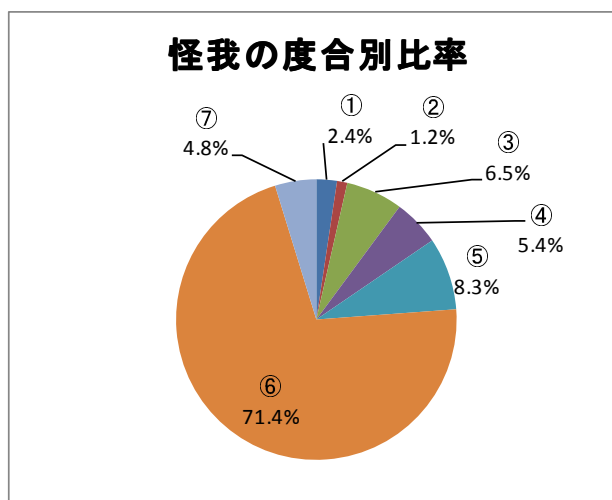
図 23 主な人身事故発生場所 平成 22 年度 (2010) ~平成 25 年度 (2013) (平成 26 年 (2014) 2 月 8 日現在)

(3) 怪我の度合い等

1) 怪我の度合い

平成 22 年度（2010）から平成 25 年度（2013）にシカ相談室に相談のあった人身事故の怪我の度合いを把握すると、「消毒や救急絆創膏貼り程度で済む傷、軽い打撲」（120 件）が最も多く、全体の 71.4%を占めている。中には、骨折の度合いが酷く、「入院」（4 件）に至る人身事故も発生している。

怪我の度合	件数
① 入院(全て骨折によるもの)	4
② 骨折	2
③ 傷口縫合、又はステープラー止め	11
④ 強い打撲	9
⑤ 傷が少し深め、出血が多め (縫合までは行かない傷)	14
⑥ 消毒や救急絆創膏貼り程度で済む傷、軽い打撲	120
⑦ 詳細不明	8
計	168



出典：奈良公園のシカ相談室、平成 26 年（2014）2 月 8 日現在

図 24 平成 22 年度（2010）～平成 25 年度（2013）人身事故発生件数（怪我の度合い別）

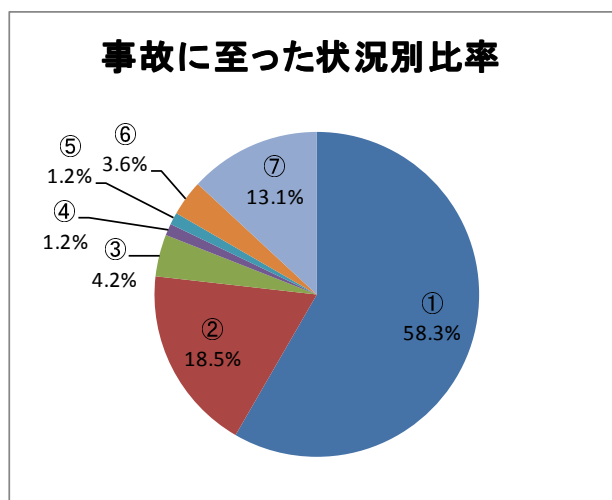
2) 事故に至った状況

平成 22 年度（2010）から平成 25 年度（2013）にシカ相談室に相談のあった人身事故の状況を把握すると、「鹿せんべいを買おうとした時、与えている最中、与え終えた直後等」（98 件）が最も多く、全体の 58.3%を占めている。次いで、「歩いていただけ、近づいただけ等」（31 件）が事故に至った状況として多く挙げられている。

なお、事故に至った状況は、親や友人を含む被害者からの自己申告であるため、被害者自身が故意に危険な行為をしていたため事故に至ったかどうかは確認できない。しかしながら、公園内では、来園者自身は意識していないかもしれないが、幼児が一人で鹿に近寄る、幼児が一人で鹿せんべいを与える、子鹿や角鹿に不用意に近寄る、口元に手を差し出す、顔を近づける等、管理者側から見れば事故につながる危険な行為が見受けられる。特に、幼児が一人で鹿に近寄る、幼児が一人で鹿せんべいを与えるという行為は多く行われている。

奈良公園では、人身事故を未然に防ぐため、奈良のシカに対する注意喚起を促すための看板を計 40 箇所を設置している。奈良公園には、中国、韓国をはじめ、海外から多くの観光客が訪れるため、看板は多言語表記としている。

事故に至った状況	件数
① 鹿せんべいを買おうとした時、与えている最中、与え終えた直後等	98
② 歩いていただけ、近づいただけ等	31
③ 手を差し出した、指をなめさせていた、触ろうとしていた等	7
④ 鹿の喧嘩、何かに驚いて逃げる鹿に巻き込まれて	2
⑤ 連れていた犬が吠えた	2
⑥ その他	6
⑦ 原因不明	22
計	168



出典：奈良公園のシカ相談室、平成 26 年（2014）2 月 8 日現在

図 25 平成 22 年度（2010）～平成 25 年度（2013）人身事故発生件数（事故に至った状況別）

注 意

警 告 Warning 주 의

奈良公園のシカの多くは人に慣れていますがあくまで野生動物です。時として人を攻撃することがありますので、特に高齢の方や小さなお子様連れの方は注意してください。

The deer of Nara Park are wild animals. They can occasionally attack people, so please be careful.

奈良公園의 鹿屬于 野生動物，有时会攻击人，所以请注意安全。

나라공원에 있는 사슴은 야생 동물입니다. 때로는 사람을 공격하기도 하므로 주의하여 주시기 바랍니다.

Bite かむ

문다 咬人

Kick たたく

踢人 때린다

Butt 突く

돌이받는다 顶人

Knock down 突進

冲撞人 들진

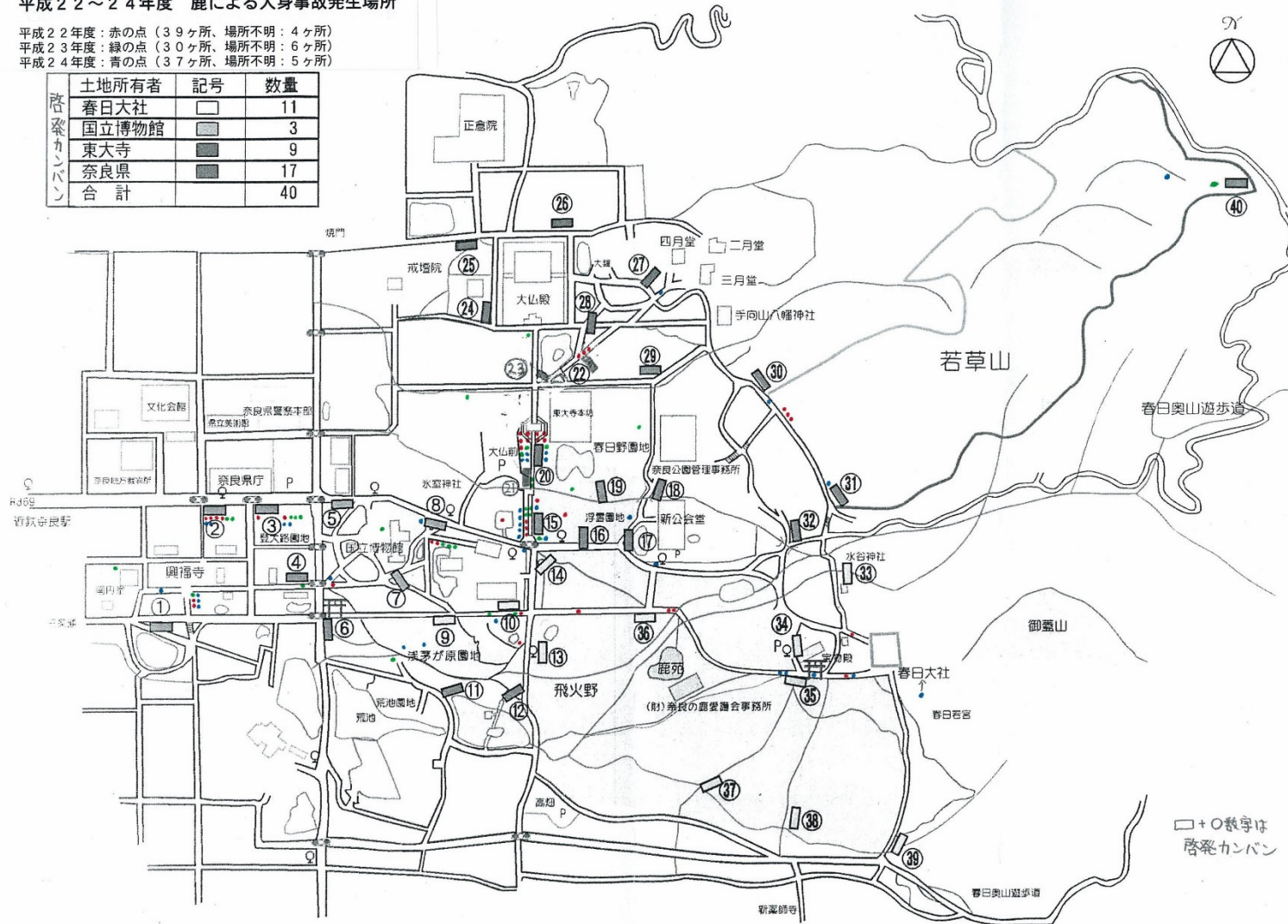
奈良県 奈良市 春日大社 奈良の鹿愛護会
連絡先 奈良公園のシカ相談室 TEL 0742-26-7755

図 26 公園内に設置している奈良のシカに対する注意喚起看板

平成22～24年度 鹿による人身事故発生場所

平成22年度：赤の点（39ヶ所、場所不明：4ヶ所）
 平成23年度：緑の点（30ヶ所、場所不明：6ヶ所）
 平成24年度：青の点（37ヶ所、場所不明：5ヶ所）

土地所有者	記号	数量
春日大社	□	11
国立博物館	■	3
東大寺	■	9
奈良県	■	17
合 計		40



出典：奈良県資料

図 27 天然記念物奈良のシカに関する注意喚起看板設置箇所

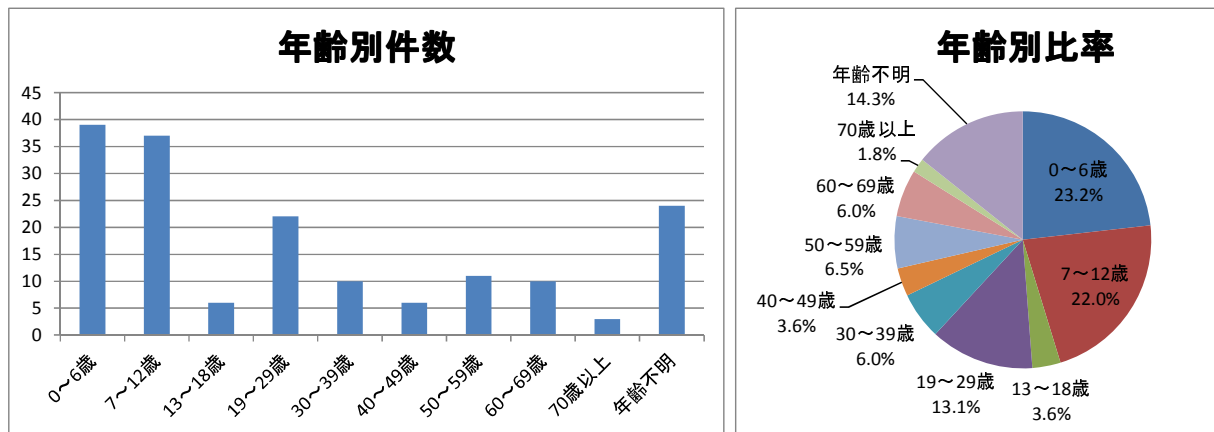
（４）年齢別の発生件数

平成 22 年度（2010）から平成 25 年度（2013）にシカ相談室に相談のあった人身事故を年齢別にみると、「小学生以下」（「0～6 歳」（23.2%）+「7～12 歳」（22.0%））で 45.2%と、発生件数の半数近くを占めている。しかしながら、小学生以下の怪我の具合は、ほとんどが軽症で済んでいる。小学生以下が怪我をした 76 件のうち、8 件が「傷口縫合、又はステープラー止め」で対処した怪我の度合いであったが、それ以上の怪我は発生していない。しかしながら、全人身事故のうち、「傷口縫合、又はステープラー止め」に至る怪我は 11 件であるため、その大半を小学生以下（8/11 件）が占めており、小学生以下で「傷口縫合、又はステープラー止め」に至る怪我が起こりやすいと言える。

一方で、高齢になるにつれて、怪我が重症化する傾向が見受けられる。骨折以上（「骨折」（2 件）+「入院（全て骨折によるもの）」（4 件））の怪我を負われた 6 人は全て 30 歳以上であり、その詳細は以下のとおりである。

【骨折以上の怪我の度合い】

- ・ 30 代女性：鹿を怖がった子供に引っ張られて転倒。足首骨折により入院。鹿による直接の事故では無い。
- ・ 55 歳女性：胸元に体当たりされ、肋骨骨折。
- ・ 59 歳女性：オス鹿に体当たりされ転倒。手首骨折。入院手術。
- ・ 64 歳女性：出産後の母鹿に襲われ転倒。骨盤、大腿骨付け根骨折。入院手術。リハビリ。
- ・ 66 歳男性：後からオス鹿に体当たりされ転倒。脛骨の膝関節付け根部分欠ける。入院。
- ・ 77 歳外国人女性：鹿に体当たりされ、転倒。手首骨折。



出典：奈良公園のシカ相談室

図 28 平成 22 年度（2010）～平成 25 年度（2013）人身事故発生件数（年齢別）